

<概要>

- ホンジュラス無処罰・汚職対策国際委員会（CICIH）設置のための国連とホンジュラス政府との合意文書が期限を迎えることについて、両者は6ヵ月延長することに合意した。また、専門家チーム派遣に関して、同専門家の業務内容についての合意書案がホンジュラス政府から国連に送付された。
- ホンジュラス国内各刑務所で、受刑者の犯罪集団マラス構成員同士の抗争が発生し、多数が死傷した。
- バルケロ経済開発大臣が辞任を表明。後任については未発表。
- カストロ大統領が中国から公式招待を受けていることを明らかにすると共に、大使館開設と二国間協力の内容協議のため中国外交団が来訪した。また、それとは別に中国外交部中南米局長も来訪しレイナ外相と会合を持った。
- 2022 年の海外直接投資は8億 2260 万ドルで、前年比 11.4%の増加であった。しかし、新規投資はそのうち 1.3%（1280 万ドル）にしか及んでおらず、残りは再投資によるものであった

<本文>

1 内政・経済

（1）ホンジュラス無処罰・汚職対策国際委員会（CICIH）の動向

4月3日、シャックルフォード当地国連代表は、昨年12月に署名されたホンジュラスと国連によるCICIH設置のメモランダムの有効期限が6ヵ月のための更新される旨、発表した。一方、19日、レイナ外相はCICIHフェーズ1の国連による派遣専門家の業務内容がほぼ完成し、7月までに国連との最終合意がなされる見込みと報告した。その後、26日付国内主要各紙は、カストロ大統領がCICIHフェーズ1の派遣専門家への付託業務内容を含んだ合意書案を承認し、政府が国連に同案を送付したと報じた。

（2）国会議員への「特別賞与」支給

4月4日付国内主要各紙は、レドンド国会議長が、イースター休暇を前に、全国会議員（128人）への「助成金」と名付けられた特別賞与（約4000ドル）を支給したと報じた。これに対して、国民党など野党側は今回の支給は、無駄や（審議されている法案への協力見返り等の目的とした）不正の温床と位置づけ、受け取りを拒否すると表明した。

（3）恐喝対策のための治安維持強化対策の再々延長

4月9日、政府は犯罪組織による企業、事業主への恐喝に対する治安維持強化措置を5月21日まで延長する旨発表した。

(4) 刑務所における暴動発生

ア 4月10日、タマラ刑務所で収監されていた対立間関係にある犯罪集団（マラス）構成員同士の衝突で、受刑者1人が死亡、7人が負傷した。国内主要紙は、マラスのひとつ MS13 がタマラ刑務所を占拠し、刑務官が排除された状態にあると報じた。これに対し、ビジャヌエバ治安次官が問題対応に当たると発表された一方で、同次官は法医学者で今回の問題の専門家ではないことから政府の対応に批判が集まった。

イ 4月12日には、エル・ポソ刑務所で MS13 の受刑者が、対立する Mara18 の受刑者に対して自動小銃で襲撃し、7人に負傷を負わせた。20日までに同刑務所では4回の受刑者同士の抗争があったと報告された。

(5) 国民党政権時代の汚職

ア 4月19日付国内主要紙は、ホンジュラス最高裁が、電力公社（ENEE）が計画予定であった電化プロジェクトを実施しなかった一方、調達した資材が倉庫からなくなったことに対する疑惑について告発されていたヘスス・メヒア前総裁への職務遂行義務違反の公判を開始する旨報じた。

イ 4月19日付国内主要紙は、レイナ外相が、国民党寄りの元職員が所有する企業が、旅券発給への便宜を図る目的で違法に700ドルを徴収していると告発した旨報じた。

ウ 4月29日、検察庁は、ホンジュラス電話公社（HONDUTEL）のメルビン・マルドナド元総裁に対して、職務遂行義務違反で告発したと発表した。同元総裁は、2019年から2021年の間に、同社が売上税を歳入庁に納入しなかった責任が問われている。

(6) バルケロ経済開発大臣の辞任

4月24日、当地主要ラジオ局 HRN 及び同系列ネットメディア「Tu Nota」他は、ペドロ・バルケロ経済開発大臣の辞任を報じた。また、パストール官房長官も、ラジオ局 HRN のインタビューに対して、24日の閣議にバルケロ経済開発大臣が出席しなかったことを認めた。同閣議では国会に提出を予定している租税正義法（税制改革法）が議論されることになっていたが、同大臣は同法案の提出に反対していた。

2 外交

(1) カストロ大統領の中国公式訪問の可能性

4月4日付国内主要紙は、カストロ大統領が習近平国家主席から公式訪問の招待を受けたと報じると共に、できるだけ早く段階での訪問を予定している旨報じた。

(2) カストロ大統領のインフレーション抑制フォーラム出席

4月6日、カストロ大統領は、メキシコのマヌエル・ロペス・オブラドール大統領がコーディネートするインフレ抑制に関するフォーラムにオンラインで参加した。その中でカストロ大統領は、より公平な貿易条件による国際貿易を提唱した。

（３）中国外交団の当地訪問

ア ４月 12 日、レイナ外相とバルケロ経済開発大臣は、中国との外交関係開設ならびに二国間協力プログラムを策定するため Yu Bo 参事官を代表とする中国外交団が当地に到着し、両大臣と会合したことを発表した。また、当地エル・エラルド紙が Yu Bo 参事官に単独インタビューをおこない、その中で「常に、相互利益、ウィンウィンの関係をベースにして、両国の尊重、共通の開発目的が達成できるようにしたいと考えている。習近平国家主席は、両国の関係が出来るだけ早く発展するように、カストロ大統領を中国に招待した。また、ホンジュラスの民間セクターが中国を訪問して貿易や観光分野等について関係を深化させることが期待される。このような相互訪問の機会が、より良い外交関係のスタートとなり、また協力強化により良い「場」となると考えている。中国は、文化、教育、経済、観光、メディア協力等の分野を通じて、ホンジュラスの経済的、社会的発展に資するよう幅広い協力関係を模索している」と述べた。

イ ４月 21 日、中国外交部中南米局長が当地を来訪し、レイナ外相と会談した。同会合では、対中国輸出振興のため植物検疫認証等について話し合われた。

３ 経済

（１）貿易の減少

４月 8 日、ホンジュラス民間企業会（COHEP）がホンジュラスの貿易に関する統計を発表した。その中で、繊維輸出の縮小が原因で 4 % の輸出減少になっていると発表した。また、17 日、中央銀行は今年の貿易予測を前年比 1 億 7700 万ドル減少する旨発表した。これによると、世界的な一次産品の過剰供給が原因の価格低下によりアブラヤシ、エビ、バナナの輸出額が減少すると予測している。

（２）海外直接投資の増加

４月 28 日、ホンジュラス投資評議会は、国内政治の不確実性が高まらない限り、2023 年にホンジュラスへの海外直接投資が 10 億ドルに達するという見込みを発表した。これはホンジュラス国内のホテル業の回復による投資の増加が要因である。2022 年の海外直接投資は 8 億 2260 万ドルで、前年比 11.4% の増加であった。ホンジュラスへの投資の 75% は、コロンビア、米国、パナマからの投資であるが、新規投資はそのうち 1.3%（1280 万ドル）にしか及んでおらず、残りは再投資によるものであった。

３ 医療保健関係

（１）４月の新型コロナウイルス感染状況（４月 18 日現在）

ア 平均新規感染者数：3.7 人/日（前月比人－4.5 人/日）

- イ 累計感染者数：472,533 人（前月比+66 人）
- ウ 平均新規死亡者数：1 人/日以下（前月比±0 人/日）
- エ 累計死亡者数：11,112 人（前月比+1 人）

4 月は、感染者数が、10 日と 18 日の二度しか発表されなかった。しかし、現在でもトリアー
ジ・センターは残されており、政府は、いわゆる三密空間でのマスク着用や手指消毒を国民に呼
びかけている。

（2）ワクチン接種、受領状況

ア ワクチン接種状況（4 月 30 日現在）：接種対象者比で、一回以上接種者が 82%（生後 6 か月以
上）、二回以上接種者が 72%（生後 6 か月以上）、三回以上接種者が 45%（生後 6 か月以上）、四
回接種者が 15%（12 歳以上）となっており、いずれも 3 月 3 日付けの前回発表から数パーセント
ずつ増えている。しかし、前回発表と比べて、生後 6 か月から 5 歳未満までの年齢層をカウント
せず接種対象者の数（分母）を減らすなどしており、作為的に接種率を上げている可能性も疑わ
れる。

4 月 18 日から、オミクロン対応ファイザー社製二価ワクチンの接種が始まった。医療従事者ま
たは 60 歳以上を対象とし、従来型ワクチンをすでに 4 回接種している事が条件となる。

イ ワクチン受領状況：4 月は、ワクチン受領の情報に接しなかった。なお、4 月 30 日現在、累計
約 2,000 万回分を受領しており、約 70%強が購入、30%弱が供与。メーカー別では、約 70%がファ
イザー社製、約 20%がモデルナ社製、約 10%がアストラゼネカ社製、数%がスプートニクとなっ
ている（中国製ワクチンはゼロ）。

（3）その他

ア テグシガルパ市保健省責任者の辞任

第一与党リブレ党の活動家が、市内の各保健所所長の解任などを求め、保健所を占拠した。28
日、テグシガルパ市保健省責任者が辞任するなどした結果、18 日ぶりに保健所が解放された。報
道では、リブレ党の副代表がけしかけており、第二与党 PSH のマテウ大臣を追い出そうとしてい
るとも噂されている。

イ マテウ保健大臣へのインタビュー

17 日、当地主要紙がマテウ保健大臣への単独インタビューを掲載した。3 年間で 8 つの病院を
建設する予定であり、金融機関では IDB と BCIE、パイではスペインなど少なくとも 4 か国からの
融資が得られている旨、語った。また、令和 4 年度無償「保健サーベイランス国立研究所建設計
画」及び「感染性廃棄物管理計画」について、「日本の貴重な支援」として紹介した。

ウ サル痘感染状況

客年 8 月 12 日に第一例が確認され、4 月 12 日に新規 4 例が追加され、累計 42 例となった。

エ 外出制限による感染症に対する影響

コロナ禍での外出制限の、感染症に対する影響に関して、報道されている。2018 年から 2021 年の間に、五種混合ワクチン、ポリオワクチン、麻疹ワクチンの接種率が、いずれも 90%台から 70%台に低下した。また、ハンセン病は、過去 7 年間で 18 例が確認されたに過ぎなかったが、2023 年はチョルテカ県だけで 16 例が報告されており、ハンセン病対策事業が中断された影響が指摘されている。

オ 山火事による健康被害

4 月は国内で山火事が頻発し、森林保護協会によると、テグシガルパ市では 230 件に達した。同市社会保険庁病院には 4 月の最終週だけでも 6,000 人を超える患者が呼吸器外来を受診しており、山火事による大気汚染が原因であると考えられている。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023 年			2022 年
	4 月	3 月	2 月	
インフレ率（前年同月比）	—	9.80	9.80	9.80%
貿易収支（百万ドル）	—	—	—	▲4,824(2021 年)
輸出（百万ドル）	—	—	—	10,215.9(2021 年)
輸入（百万ドル）	—	—	—	15,039.9(2021 年)
外貨準備高（百万ドル）	—	8280.7	8280.7	8421.3
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	7,184.4(2021 年)
為替レート（対ドル月平均）	—	24.68	24.68	24.64

（出典：ホンジュラス中央銀行） ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）